

### 3 浄水場のしくみ

小鷹野浄水場は、緩速(ゆっくりした速さ)ろ過方式で水をきれいにしています。  
 豊川の水は、下条取水場からくみ上げられ、導水管を通り小鷹野浄水場の着水井へ着きます。

それから、ろ過池とよばれる大きなプールで、川の水をゆっくり砂の層に通し(1日に5m進む速さ)、微生物(小さな生き物)の力をかりながら、細かいゴミや水中に溶け込んでいる汚れとばい菌を取りのぞいています。

そして、緩速ろ過方式できれいになった水は消毒されて水道水になります。

### 4 水道水をとどけるしくみ

浄水場でつくられた水道水は、大きな送水管を通して、水にいきおいをつけるためにいったん山の高い所(約60m)にある配水池という大きなタンクにためられます。豊橋市内には7つの配水池があり、小学校のプールで約155杯分(62,000 m<sup>3</sup>)もの水をためることができます。

配水池から出た水は、配水管を通してみなさんの家や学校、工場などにとどきます。

豊橋市内の配水管を全部つなぐと約2,100kmで、豊橋から東京までの3往復半と同じぐらいのきよりになります。

